

# りりこから広がるふれあいの輪 ～みんなで分かち合うしあわせの味～

知的障害特別支援学級  
1～6年生（24名）  
野村先生

## 活動のねらい

- 1 育てる喜びを味わう**  
苗からトマトを育てることで、命の成長に気づき、世話を続ける大切さを学ぶ。
- 2 食への関心を高める**  
収穫したトマトを調理し、食べることで、食べ物大切さやおいしさを実感する。
- 3 仲間と協力して活動する**  
みんなで育て、調理し、ふるまう過程を通して、協力する楽しさや役割分担の大切さを学ぶ。
- 4 喜びを分かち合う**  
自分たちだけでなく、保護者や先生、学校の仲間にもふるまうことで、活動の楽しさを広げ、達成感を味わう



## 活動の概要と流れ

- |            |  |
|------------|--|
| 4 月        | <p><b>花壇の整備、りりこと一緒に植える野菜の選定</b><br/>草抜きや石拾いを行い、花壇の土を耕して畝を作る。<br/>トマトをメインとし、ピザにのせたい野菜（バジル、ピーマン、ナス）を絵や写真を見て選定し、投票で決定した。</p>  |
| 5 月        | <p><b>野菜ごとの育て方を調べ、まとめる</b><br/>カゴメのホームページ（「トマト栽培スクール」）や図書館の本、インターネットを活用し、オンラインビジュアルツールキットを使って育て方の手順や注意点を写真やイラスト、平易な言葉で時系列にまとめた。それを教室前の廊下に掲示し、いつでも確認できるようにした。</p>   |
| 6 月        | <p><b>野菜のお世話</b><br/>当番活動として、毎日交代で水やりを行った。自分たちで調べた育て方に従って、成長に合わせて支柱を立て、先生と一緒に麻ひもで茎を支える作業を行った。<br/>わき芽かきなどの簡単な手入れにも挑戦した。</p>  |
| 7 月<br>8 月 | <p><b>野菜の収穫</b><br/>トマトの色や固さを触って確認し、食べごろのものから収穫。<br/>収穫したトマトを洗って、数を数え、重さを量って、冷凍保存した。</p>   |
| 9 月        | <p><b>トマトソース作り</b><br/>収穫したトマトを使って、衛生面に注意しながら昨年度考案したレシピでトマトソースを作った。<br/>皮むき、包丁で細かく切る、煮込むなどに工程を分け、協力する楽しさや役割分担の大切さを学んだ。</p>   |
| 10 月       | <p><b>トマトソースの改良、トッピングの相談</b><br/>作ったトマトソースを試食し、「もっと甘くしたい」「塩を足したい」などの改良点について自分たちで話し合った。先生たちにも試食をお願いし、アンケートを作成して意見を集め、調味料の配分を調整した。<br/>ピザのトッピングについてアンケートをとり、食べたいものや色合いを考えた。</p>                                  |
| 11 月<br>以降 | <p><b>先生向けにピザの販売を行った</b><br/>まず、先生一人ひとりに注文用紙を配付し、注文を受けた。あらかじめ配達日を伝え、その日までに役割分担をしてピザを制作した。完成したピザは、決まった時間に先生方のもとへ届ける宅配形式で販売した。注文用紙を渡す際やピザを届ける際には、どのような言葉で対応するかを話し合いながら決めた。また、販売で得た収益を使い、参観日に保護者の方々へピザをふるまった。</p> |



## 調理(実習)メニュー

トマトソース、ピザ

## 実施内容のポイント

- ① トマトを育ててピザを作ることを計画し、トマトと一緒に植える野菜を調べて決めた。
- ② 植えた野菜の世話を当番制で行った。
- ③ トマトを収穫し、トマトソースを作った。味はアンケートで改良した。
- ④ 先生や保護者を招待して「ピザ屋さん」を開き、ピザを販売した。



## 取り組みの工夫と実践の成果

子どもたちはトマトを苗から育て、日々お世話をする中で、小さな命が成長する様子に気づき、育てる喜びと継続して世話をする大切さを肌で感じることができました。

自分たちで水やりや支柱立てなどのお世話をし、収穫したトマトだからこそ、「大事に、おいしく食べてもらいたい」という思いを持つようになりました。

また、トマトソース作りなどの調理活動では、仲間と工程を分担し協力する大切さを学ぶことができました。

同時に、ソースの試食や改良の話し合いでは「もっと甘くしたい」など、自分の考えを主張しようとする主体性も育まれました。さらに、先生たちにも試食をお願いして意見をもらい、自分たちの作ったものが認められることで自信を深め、ピザの販売会へと意欲を高めることができました。



## 感じたこと

昨年度、子どもたちは初めてトマトを栽培し、そのトマトでソースを作ってピザパーティーを行いました。その一連の活動を通して自分たちで育て、調理し、味わう楽しさや達成感を感じることができました。今年度はその経験をもとに、育てる喜びやおいしさをより多くの人と分かち合いたいという思いが生まれました。そこで、保護者や先生、同じ学校の仲間にも味わってもらえるように活動を広げていくことになりました。

りりこを提供していただいたことで、自分たちの知っている商品にもなる特別なトマトという意識を持ちながら、育てる喜びを感じることができました。また、自分たちで育てたトマトだからこそ大事に、そして多くの人々に知ってもらいたいという気持ちが強く表れたのだと思います。普段、原学級だと引っ込み思案になったりして一步下がってしまう児童が多い中、苗から育てたことで自分たちの思いを言葉にし、協力しながらピザ販売会へと計画を進めていくことができたと感じました。

## 受賞理由

トマト栽培では、ビジュアルツールキットなどの視覚支援ツールで手順を可視化し、子どもたちが主体的に学んだ点が秀逸です。収穫後のソース作りでは、教職員へのアンケートをもとに味を改良する探究的な姿勢が見られました。さらに、「ピザ販売会」として役割を分担し、保護者や地域と喜びを分かち合う独自の工夫が、子どもたちの社会性を引き出している点が素晴らしいです。